

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案件名 スマート兵庫戦略（案）  
 意見募集期間 令和4年8月12日～令和4年9月1日まで  
 提出件数 11件（7人）

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
総論	用語集の記載はあるが、本文中で英語表記より分かりやすいものについては日本語表記をすべきである。（(例)Well-Being、UI、UX、アクセシビリティ、RPA、KPI等）	1	【意見を反映】 ご意見を参考にさせていただき、一部日本語表記を主とした書き方としました。
	SDGsが叫ばれる今日、デジタル化による好影響が農業、ものづくり、教育等様々な分野に波及しており、戦略は非常に共感できる内容であった。また、行政手続オンライン化における代理申請を可能とする機能の実装や、CGハザードマップをプラットフォームとした防災情報の発信は良い取組だと思う。	1	【本文の趣旨に一致】 行政、暮らし、産業、基盤の4つのデジタル化を取組の柱として位置づけ、「スマート兵庫」の実現に向けた取組を戦略的に推進していきます。
Ⅰ 行政のデジタル化	同じ行政手続を複数の自治体にする場合、自治体によってデジタル化しているところとしていないところがあり、手続が煩雑なので、まず行政のデジタル化を進めてほしい。	1	【本文の趣旨に一致】 良質な行政サービスの提供により県民の満足度を高めるため、県内全域で行政手続のオンライン化を推進していきます。
	マイナンバーカードの普及及び利活用促進については、市役所等で啓発が行われているが、まずは用途を多様化し必要性を高めるべきである。	1	【今後の取組の参考】 取組の推進にあたってはご意見を参考にさせていただき、マイナンバーカードの更なる利活用促進に努めます。
Ⅱ 暮らしのデジタル化	小・中・高等学校を通じたプログラミング授業の実施は、デジタル人材育成の点からも共感できる。デジタル化推進の効果をさらに高めるため、地域間で差が生じないように教師等のICT能力の向上も期待する。	1	【本文の趣旨に一致】 デジタル社会に不可欠なICT利活用力を育むためプログラミング教育の推進に取り組むとともに、研修等を通じて県内教員のICT能力向上を目指す取組を推進していきます。
	手や顔等の登録による認証により、交通系ICカードを用いた改札は本人のみが行える機能を搭載できないか。同カードの活用により、例えば駅への無人コンビニの設置等の可能性も見てくる気がする。	1	【その他】 交通系ICカードの機能拡充は鉄道事業者の判断で行うものと考えますが、ご意見の趣旨を踏まえ、県民生活の利便性向上に努めます。
Ⅲ 産業のデジタル化	起業を促進し、産業集積を図っていくには、通信基盤などの環境整備に加え、人材確保が不可欠だと思う。企業に対して必要なスキルが修得できるデジタル人材育成に向けた支援や、デジタルを用いた人材確保の仕組みづくり等を期待する。	1	【本文の趣旨に一致】 産業分野のデジタル化や、DX人材の育成に向けた取組を推進していきます。
Ⅳ デジタル社会を支える基盤を確立	県内には、山間部や沿岸部の観光スポットや道路などで携帯電話が利用できないエリアがまだある。5Gエリアももっと拡大してほしい。	1	【本文の趣旨に一致】 5Gエリア化を含め、県内のアンテナ基地局の開設促進に取り組んで参ります。
	利便性を高めるため、例えばJR西日本と連携して三ノ宮～姫路駅間の電車内で誰でも高速フリーWi-Fi接続やワイヤレス充電等ができる実証実験を行ってはどうか。	1	【今後の取組の参考】 ご意見を参考にさせていただき、県民の通信環境の改善に向けた取組を推進していきます。
	デジタルに不慣れな高齢者がスマートフォン等の基本的な操作を習得できる取組や、地域で教え合う取組の推進が重要である。	1	【本文の趣旨に一致】 高齢者等が身近な場所でスマホの基本操作等を学ぶ講習会を開催したり、身近で相談できる者を育成するなど、デジタルデバイドを解消する取組を推進します。
	デジタル技術の活用は不可欠だと思うが、一方でUSB紛失や外部からの攻撃等に伴う個人情報漏洩等のニュースが後を絶たない。セキュリティ対策を万全に行ってほしい。	1	【本文の趣旨に一致】 情報セキュリティ対策を強化し、不正アクセスや個人情報漏洩等の防止に一層取り組んで参ります。